



手を動かす

今日から合唱の朝練が始まった。7時半の集合はなかなか大変だと思うが（部活の朝練がある人は、毎日7時半になってしまったり…）、●●くんや●●くんが言っていたように、40分には確実に始められるように協力しよう。せっかく早く来ているのに、他の人の到着が遅れて時間が無駄になるようだと、次第に練習に対する士気が低下していってしまうものだ。そんなことがないように、「やる時はやる」といった感じでケジメを大切に、本番までの残りわずかな期間を有効に生かしていこう。

同時に、早くついた人は、練習までのすき間時間をどう活用するのか、こういう機会も利用して色々試してみることで。少しの時間でもできること、いざ練習が始まったらサッと頭を切り換えられること、それは自分にとっては何なのかを考えて、実際にトライしてみると、意外なことに集中することができたりして、新しい勉強法と出会うキッカケになったりするかも知れない。（個人的には、漢字と古文単語をお勧めします…笑） ちょうど来週は、2学年の遅刻防止週間でもあるから、まあいい機会だと思って、がんばろう。

*

ところで、明日は第2学年最初の模試である。健闘を期待したい。なお、最終的には自分の身体との相談で決めるべきことではあるが、本番の大学入試の際は、多少体調が悪いくらいでは休まないはずだ。そういうことを考えると、体調が悪い時に自分がどんな答案を書くことになるのかというを、体験しておくのも大切なことなのである。翌日の日曜日

が休みであることも踏まえた上で、少しは無理をしてみることも一つの経験である。

一方、部活によってはそろそろ国体の予選などが始まっているところもあるだろう。今回の大会にかけているということであれば、体調が悪い土曜日には無理しないでおきたいという場合もあるに違いない。そういう判断も私は大切だと思う。諸君がする判断は尊重するから、しっかり自分で判断し、しっかり自分で責任をとって、こういう模試の機会を自分の進路とどう結びつけのか、そろそろ真剣に考え始めるようにしてほしい。

…などと書いているうちに、中間考査も着々と近づいている。この前の「進路アンケート」の中で、「やる気が出なくて困る」と書いていた人が数名いた。そう、複数いたから自分だけかな…と悩んでいるとしたら、そうでもない、それは共通の悩みなのだということを先ず知って、ちょっとは安心してほしい。

しかし、安心したからといって事態が改善するわけではないことも厳然たる事実である。そして、それを乗り越える方法も、結局は自分自身の中にしかないということが、これまた厳然たる事実なのである。

だから、まずは机に向かって手を動かし始めることだ。私も、イヤな原稿の期日に迫られることがあるが、そういう時は、イヤイヤながらも机に座って作業を始めてしまうのである。そうすると、いつの間にか作業が進んでいたりするのである。とにかく目の前の課題をこなすこと。そこから始めるしかない。と心に決めて、実際に手を動かしはじめよう。